

第15週の発生動向(2007/4/9~2007/4/15)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において、第14週から**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所(第10週~)、むつ保健所管内(第49週~)において、**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
4. 感染性胃腸炎については、横ばい状態から再び増加傾向にあることから、引き続き注意が必要です。
5. インフルエンザについては、先週に引き続き、県内すべての保健所管内において、**警報**、**注意報**のいずれかが発令されています。詳細については、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。

第15週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数		定点	数	定点	数
(100) インフルエンザ	154	11.00	199	13.27	214	15.29	75	10.71	259	28.78	111	18.50	1,012	15.57	-453	8	4.00	146	12.17
(72) RSウイルス感染症			2	0.22									2	0.05	-1				
(73) 咽頭結膜熱	2	0.22							18	3.00	2	0.50	22	0.52	2			2	0.25
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	2.44	25	2.78	2	0.22			4	0.67	8	2.00	61	1.45	-8			22	2.75
(75) 感染性胃腸炎	36	4.00	20	2.22	16	1.78	4	0.80	29	4.83	50	12.50	155	3.69	56	7	7.00	29	3.63
(76) 水痘	10	1.11	5	0.56	4	0.44			17	2.83	8	2.00	44	1.05	-18	1	1.00	9	1.13
(77) 手足口病															-2				
(78) 伝染性紅斑					7	0.78	5	1.00	1	0.17	21	5.25	34	0.81	4				
(79) 突発性発しん	3	0.33	4	0.44	2	0.22	2	0.40	5	0.83	1	0.25	17	0.40	-1			3	0.38
(80) 百日咳															0				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ															0				
(83) 麻しん(成人を除く)															0				
(84) 流行性耳下腺炎	21	2.33	4	0.44	13	1.44			12	2.00	5	1.25	55	1.31	6	6	6.00	15	1.88
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	2	1.00							4	0.36	-3			1	0.50
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					3	3.00	7	1.17	1				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ(内科+小児科)	小児科	内科	眼科
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む)

(13) 細菌性赤痢(三類全数把握疾患) 八戸保健所管内:1人 (19年計:1人)

感染症の窓 病原体検索におけるエンテロウイルス(腸管系)検出について (18年1月~12月)

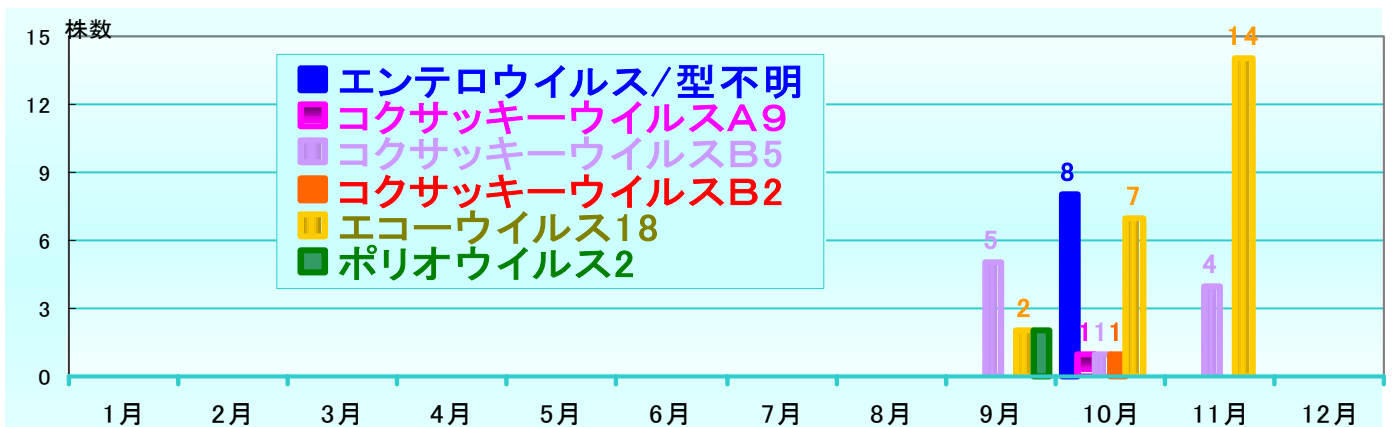


図 病原体検索結果(18年)

エンテロウイルス感染症は、主に乳幼児、小児に多い疾病で、症状は多種多様です。平成18年1月から12月までに、搬入された検体の診断名は発疹症、無菌性髄膜炎、急性胃腸炎等です。例年、手足口病、ヘルパンギーナ、無菌性髄膜炎などのエンテロウイルス感染症は、夏季を中心とした6月~9月に流行します。平成18年は、9月~11月と時期がやや遅れて病原体が検出されました(図)。主に、エコー18型、コクサッキーB5型が多く、検出地域は、一カ所に集中しており、地域的な流行が推察されました。その他、コクサッキーB2型、コクサッキーA9型、ワクチン由来のポリオウイルス2型も検出されました。